

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2022 年 第 19 週（5月9日~5月15日）

< 全数把握対象疾患の患者情報 >

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症 レジオネラ症	3 人 病型 肺炎型 3 人
五類感染症 カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 人 菌種 <i>Serratia</i> sp.
侵襲性肺炎球菌感染症	3 人
梅毒	10 人 病型 早期顕症 期 6 人、 早期顕症 期 4 人
百日咳	1 人 年齢階級 0 歳

新型コロナウイルス感染症については、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>) 内の「陽性確認者」を参照してください。

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

小児科及び内科定点把握対象疾患の定点当たり報告数は、例年並み以下の状況で推移している。眼科定点報告疾患では、**流行性角結膜炎** 9 人の報告があった。基幹定点報告疾患の報告はなかった。

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、衛生研究所 感染症疫学情報担当

TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613 e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp まで御連絡ください。

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL:

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第19週)

(2022年5月17日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症		17			
四類感染症					
E型肝炎		9	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		2	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサヌル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	3	14
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱			ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		2	侵襲性肺炎球菌感染症	3	16
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		3	水痘(入院例に限る)		4
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	21	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	10	155
急性脳炎		8	播種性クリプトコックス症		1
クリプトスポリジウム症			破傷風		
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		11	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		7	百日咳	1	7
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症*2				

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

*2 県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)内の「陽性確認者」を参照してください。

結核届出状況(2022年4月分)

2022年4月の届出総数は、患者44人、無症状病原体保有者15人の計59人であった。前月と比べると患者数は減少し、無症状病原体保有者数は同水準であった。前年同月との比較においては患者数、無症状病原体保有者数ともに減少した。

表1 診断月別の届出数の推移(2021年4月～2022年4月)

	2021年*									2022年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	累計**
総計	83	62	70	74	61	74	70	71	79	67	48	76	59	250
年齢階級														
10歳未満	4	2	1	0	1	4	0	2	3	1	2	2	2	7
10歳代	2	1	1	0	2	3	0	2	1	2	0	0	0	2
20歳代	9	7	7	6	7	5	10	4	3	4	2	6	2	14
30歳代	6	3	3	4	6	3	3	1	6	6	2	1	1	10
40歳代	5	5	6	7	7	3	8	4	9	8	6	10	8	32
50歳代	8	9	6	11	8	11	10	19	8	4	6	5	8	23
60歳代	9	6	14	4	1	9	8	7	8	7	2	9	3	21
70歳代	16	16	11	17	10	14	12	16	19	19	11	17	13	60
80歳以上	24	13	21	25	19	22	19	16	22	16	17	26	22	81
性														
男	48	39	46	40	33	44	34	40	45	36	26	47	32	141
女	35	23	24	34	28	30	36	31	34	31	22	29	27	109
類型														
患者	53	46	49	53	44	52	46	53	51	43	28	61	44	176
感染症死亡者の死体	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
無症状病原体保有者	30	15	21	21	17	22	24	18	28	23	20	15	15	73
病型														
肺結核	37	25	34	38	33	39	34	36	33	33	19	49	29	130
肺結核及びその他の結核	4	8	0	1	2	2	1	6	6	4	1	3	6	14
その他の結核	12	14	15	14	9	11	11	11	12	6	8	9	9	32
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
無症状病原体保有者	30	15	21	21	17	22	24	18	28	23	20	15	15	73

*:2021年の届出数は暫定値

** :2022年1月からの累積届出数

4月に診断された59人を病型別にみると、肺結核は30歳以上の年齢階級から計29人の報告があり、50歳代以上が25人で86%を占めた。無症状病原体保有者は10歳代、30歳代及び60歳代を除く年齢階級から報告があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2022年4月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	29	6	9	0	15	59
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	2	2
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	0	0	0	0	2	2
30歳代	1	0	0	0	0	1
40歳代	3	1	0	0	4	8
50歳代	6	0	1	0	1	8
60歳代	2	0	1	0	0	3
70歳代	4	3	3	0	3	13
80歳以上	13	2	4	0	3	22

感染症発生状況(定点把握対象疾患) 報告患者数 年齢別 (2022年第19週 5月9日～5月15日)

	年齢別																			
	合計	-6ヵ月-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	7	-	-	1	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	7	-	-	1	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	12	-	1	6	2	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	-	-	-	1	3	4	1	3	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1
合計	777	2	58	126	106	89	87	65	40	31	21	15	73	18	46	-	-	-	-	-
水痘	12	-	1	-	1	-	3	1	1	1	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	9	-	-	4	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	4	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	60	-	15	35	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	6	-	-	-	-	-	1	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	6	-	-	-	-	-	1	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	9	-	-	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	1	1	1	1	1
流行性角結膜炎	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	1	1	1	1	1
合計	0	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~	-	-	-
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第16週 (4月18日～4月24日)

令和4年5月18日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は山梨県(0.05)、長野県(0.05)、新潟県(0.03)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1例と前週と同値であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福井県(1.13)、宮崎県(1.11)、島根県(1.00)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.30)、山形県(0.28)、新潟県(0.26)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は鳥取県(1.89)、新潟県(1.33)、山口県(0.89)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(9.39)、富山県(8.24)、山形県(7.48)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は福井県(2.52)、沖縄県(2.09)、鹿児島県(0.72)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は愛媛県(0.14)、長野県(0.06)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福井県(0.13)、新潟県(0.05)、長野県(0.04)、鹿児島県(0.04)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は栃木県(0.15)、岡山県(0.15)、山口県(0.13)、和歌山県(0.10)である。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では岐阜県(0.20)、滋賀県(0.14)、埼玉県(0.09)、和歌山県(0.09)、北海道(0.04)から報告があった。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。4都道府県から4例報告があり、年齢別では1～4歳(1例)、5～9歳(3例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2022年 第16週(4月18日～4月24日)通巻第24巻 第16号より

<関東情報>

		2022年 16週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	18	5	-	-	1	1	1	2	-
	定点当たり	0.00	0.00	-	-	0.01	0.00	0.00	0.00	-
RSウイルス感染症	報告数	416	38	6	16	-	2	-	11	3
	定点当たり	0.13	0.04	0.08	0.33	-	0.01	-	0.04	0.01
咽頭結膜熱	報告数	322	55	3	1	4	5	3	18	21
	定点当たり	0.10	0.06	0.04	0.02	0.07	0.03	0.02	0.07	0.10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	907	156	17	9	17	18	27	29	39
	定点当たり	0.29	0.17	0.23	0.19	0.31	0.11	0.21	0.11	0.18
感染性胃腸炎	報告数	12,849	4,107	250	77	301	625	585	1,371	898
	定点当たり	4.09	4.37	3.33	1.60	5.57	3.96	4.53	5.33	4.10
水痘	報告数	224	60	6	1	3	8	5	15	22
	定点当たり	0.07	0.06	0.08	0.02	0.06	0.05	0.04	0.06	0.10
手足口病	報告数	374	81	11	8	16	15	9	12	10
	定点当たり	0.12	0.09	0.15	0.17	0.30	0.09	0.07	0.05	0.05
伝染性紅斑	報告数	41	14	-	2	-	3	3	4	2
	定点当たり	0.01	0.01	-	0.04	-	0.02	0.02	0.02	0.01
突発性発しん	報告数	1,190	346	12	19	13	62	53	109	78
	定点当たり	0.38	0.37	0.16	0.40	0.24	0.39	0.41	0.42	0.36
ヘルパンギーナ	報告数	32	12	-	1	1	-	4	5	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	0.02	0.02	-	0.03	0.02	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	121	45	5	7	1	6	5	9	12
	定点当たり	0.04	0.05	0.07	0.15	0.02	0.04	0.04	0.04	0.05
急性出血性結膜炎	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	105	43	7	2	-	8	4	3	19
	定点当たり	0.15	0.21	0.41	0.17	-	0.20	0.12	0.08	0.37
細菌性髄膜炎 #2	報告数	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	6	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.09	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	5	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.09	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

感染症発生動向調査 2022年

- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第1週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第2週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第3週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第4週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第5週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第6週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第7週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第8週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第9週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第10週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第11週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第12週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第13週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第14週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第15週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第16週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第17週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2022年 第18週](#)

感染症の流行状況 2022年 第19週

2022年第19週（5月9日～5月15日）の要点 令和4年5月18日

定点把握対象疾患の定点当たり報告数は、例年並み以下でした。引き続き、外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [COVID-19\(新型コロナウイルス感染症\)に関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	↑	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	↑	★
手足口病	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン